

信州大学 平成 28 年度学生募集要項

繊維学部推薦入試



**SHINSHU
UNIVERSITY**

信州大学のアドミッションポリシー

1 求める学生像

信州の悠久の歴史と文化、豊かな自然環境のもと、地域に根ざし世界に開かれた信州大学は、真理への探究心とチャレンジ精神を培い、高度な専門知識と深い思索力を基にして、課題を探究し解決する能力を備えた人材を育成します。

また、豊かな人間性と広い視野をもち、身につけた知識や技術を人類文化と社会の持続的発展に役立て、世界の平和と自然環境の保全のために活かすことのできる、意欲あふれる若者を育てます。

信州大学は、このような教育の理念・目標を実現するために、以下のような資質を備えた人たを積極的に受け入れます。

- ・人間と自然を愛し、人との出会いを通じて学び合おうとする人
- ・知的好奇心が旺盛で、課題に向かって主体的に行動できる人
- ・多様性を理解し受け入れ、独自性を大切に人
- ・社会・環境・国際問題に関心をもち、世界に貢献したいと考える人

2 入学者選抜の基本方針

信州大学の教育の理念・目標に則り、各学部の特性に応じた適切な方法で多様な入試を実施し、大学教育を受けるにふさわしい能力・適性等を多面的・総合的かつ公正に評価し、選抜します。

繊維学部のアドミッションポリシー

理 念

豊かな自然に抱かれた本学部は、衣・食・住の要である“繊維”に根ざした伝統的な科学技術を背景として、学際的先端科学技術のさらなる展開を図り、21世紀における文化創造科学技術を開拓します。さらに、優れた人格と国際性を有し、未来を創造しうる、広い視野と高い能力を持つ技術者、高度専門職業人、研究者を養成します。そして、地球環境と共生し、人類社会の発展と平和、福祉の向上に資することを理念とします。

教育目標

- 1) 優れた人格の形成
 - 豊かな人間性 ●社会に対する貢献と責任意識 ●高い倫理観
- 2) 進展する科学技術と社会の変化に対応しうる能力、未来創造能力
 - 課題設定・探求能力 ●普遍的基礎学力 ●学際・業際領域を開く創造的能力
 - 自己啓発能力 ●チャレンジ精神・起業家精神（ベンチャー精神）
- 3) 基礎学力に裏付けされた専門性
 - 専門的能力 ●実践的能力 ●経営・企画等能力（マネジメント能力）
- 4) 国際性
 - 自国文化・異文化理解力 ●外国語能力と個性豊かな表現力
- 5) 情報処理能力

以上を涵養し、技術者、将来の研究者として十分な基礎的素養を身につけ、総合的視野と高い能力を備えた人材を養成します。

求める学生像

繊維学部では次のような学生を求めます。

- 1) 高い志を持ち、現代の多様な学問分野を融合した学際領域的な科学技術を学ぶことに強い関心を持つ学生
- 2) 明確な目的意識と強い勉学意欲を持ち、進化する科学技術に対応するように、より高い専門的・実践的能力を得ることを目指していく学生
- 3) 地域社会や国際社会に貢献するために必要な、豊かな教養と人間性を高めようとする意欲を持った学生

大学入学までに身につけておくべき教科・科目

各高等学校が定める教育課程表に従い、国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民等、すべての教科・科目について、大学入学後の勉学に支障をきたさない程度に履修していることが望まれます。特に、繊維学部での授業内容を理解するために不可欠な教科である数学及び理科に関しては、下記の科目の内容を理解していることが望まれます。

・普通科の場合

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B

理科：先進繊維・感性工学科 … 物理基礎、物理、化学基礎、化学

機械・ロボット学科 … 物理基礎、物理

化学・材料学科 … 化学基礎、化学、物理基礎、物理

応用生物科学科 … 生物基礎、生物、化学基礎、化学

・普通科以外の場合

各高等学校の教育課程表に従い、履修可能な数学及び理科に関するできるだけ多くの科目

目 次

1. 募集人員	2
2. 出願資格及び推薦の要件	2
3. 出願手続	2
4. 選抜方法等	4
5. 選抜期日及び試験場	6
6. 所属学科とカリキュラム	7
7. 合格発表	7
8. 入学手続	7
9. 一般入試への出願・受験	8
10. 障害等のある方の事前相談	8
11. 個人情報の利用	9
12. 入試情報の開示	10
13. その他	11

[添付書類等]

- 「志願票」 ・ 「受験票」 ・ 「写真票」
- 「推薦書」
- 「A票：入学検定料納付確認書」 ・ 「B票：入学検定料領収書」 ・ 「C票：振込依頼書」
- 「願書送付用封筒」 受験生から繊維学部入試事務室あて
- 「受験票等送付用封筒」 繊維学部入試事務室から受験生あて
- 「ラベル票」

※ 繊維学部の推薦入試に関する情報は、信州大学繊維学部ホームページ (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/>) にも掲載しています。

1. 募集人員

■全学科対象

学 科	募集人員	対象となる学校の範囲
先進繊維・感性工学科	18人	高等学校（中等教育学校を含みます。）の各学科
機械・ロボット学科	6人	
化学・材料学科	14人	
応用生物科学科	10人	

■職業教育を主とする学科対象

学 科	募集人員	対象となる学校の範囲
先進繊維・感性工学科	2人	高等学校（中等教育学校を含みます。）の職業教育を主とする学科
化学・材料学科	1人	高等学校（中等教育学校を含みます。）の工業に関する学科

※ 「高等学校の職業教育を主とする学科」及び「工業に関する学科」に総合学科は含みません。

※ 推薦入試の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般入試前期日程の募集人員に加えます。

2. 出願資格及び推薦の要件

次の（１）から（３）の各号すべてに該当し、高等学校（中等教育学校を含みます。以下同じ。）の長（以下「学校長」といいます。）が責任を持って推薦できる方で、合格した場合に入学することを確約できる方とします。

なお、学校長が推薦できる人員に制限はありません。

- （１）高等学校を平成26年4月1日から平成28年3月31日までに、卒業又は卒業見込みの方
- （２）人物及び高等学校の学習成績が優れている方
- （３）志望する学科の教育目標に合致する強い学習意欲を持つとともに、幅広い基礎学力を有し、繊維学部での学修を経て社会に貢献しようとする強い意志を持つ方

3. 出願手続

- （１）出願期間

平成27年11月2日（月）から平成27年11月6日（金）（消印有効）

原則として郵送としますが、持参による場合の受付時間は8時30分から17時までとし、祝日は受け付けません。

(2) 出願方法等

- ① この募集要項に添付する願書送付用封筒〔角形2号(24cm×33.2cm)〕に出願書類等を一括して入れ、書留速達郵便で提出してください。
また、推薦学校長が取りまとめて提出する場合は、志願者各人の必要書類をそれぞれ願書送付用封筒に入れ、一括して提出してください。
- ② 出願手続を完了した方には、受験票等を送付します。
- ③ 出願書類等提出後10日間経過しても本人に受験票等が到着しないときには、繊維学部入試事務室に問い合わせてください。

(3) 出願書類等提出先

〒386-8567 長野県上田市常田3-15-1
信州大学繊維学部入試事務室 TEL 0268-21-5310

(4) 出願書類等

入学志願者は、次の書類等を取り揃えて出願期間内に手続を行ってください。

出 願 書 類 等	摘 要
◎入 学 志 願 票	この募集要項の1の「推薦入試の対象となる学校の範囲」に従って、「 <u>高等学校の各学科</u> 」を対象とする募集用又は「 <u>職業教育を主とする学科</u> 」を対象とする募集用の指定用紙のいずれか一枚に必要な事項を記入してください。 対象となる高等学校の範囲を外れたものは受理しません。
◎受験票・写真票	受験票・写真票とも志望学科及び氏名を記入し、出願前3か月以内に撮影した正面、無帽、上半身、背景なしの同一写真(縦4cm×横3cm、白黒・カラーは問いません。)を指定欄(2箇所)に貼ってください。 (試験場で不審をもたれないように眼鏡・髪型等に注意してください。)
調 査 書	文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したものとします。 なお、出身学校の廃校、被災その他の事情によって出身学校長の調査書が得られない場合は、卒業証書、成績通信簿等のコピー(正本は入学許可の際改めて提示してください。)を提出してください。
◎推 薦 書	この募集要項に添付する用紙を用いて、出身学校長が作成し、厳封したものとします。 ※ この用紙は、本学部ホームページからもダウンロードすることができます。 本学部ホームページ： http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/
◎入学検定料納付確認書(A票)	① 入学検定料17,000円をこの募集要項に添付する振込依頼書(C票)を使用して、平成27年10月27日(火)から平成27年11月6日(金)までの間に金融機関から「電信扱い」で振り込んでください。振込みには別途振込手数料が必要です。 なお、ゆうちょ銀行(郵便局)からの振込みはできません。 また、ATM(現金自動預支払機)、携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。 ② 振込み後、納付確認書(A票)及び領収書(B票)を受け取り、A票、B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し、納付確認書(A票)を提出してください。 また、「取扱金融機関収納印」欄には、出願期間最終日までの収納印があるものに限り有効となりますので、特に出願期間最終日に振り込まれる場合には、金融機関の窓口での受付時間を確認のうえ行ってください。 ③ 出願期間最終日に持参により提出する方で、金融機関の窓口業務取扱時間内に振込みができなかった方に限り、現金による納付を受け付けます。

◎受験票等送付用封筒	この募集要項に添付する定形の封筒〔長形3号(12cm×23.5cm)〕に、志願者の郵便番号、住所、氏名、志望学科を明記し、372円分の切手（速達料を含みます。）を貼ってください。
◎ラベル票	この募集要項に添付する用紙に、志願者の郵便番号、住所、氏名を明記してください。

【出願書類等記入上の注意】

- ・◎印は、本学部指定の様式です。（この募集要項の巻末に添付されています。）
- ・黒か青のボールペン又はインクで記入してください。
- ・誤って記入した場合は、訂正箇所を二重線で消し、訂正してください。
- ・※印の欄は記入しないでください。

(5) 出願に際しての注意事項

- ① 国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除きます。以下同じ。）の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部のみです。
- ② 出願書類に不備があるものは、受理しません。
- ③ 受理した出願書類等の志望学科の変更は認めません。
- ④ 受理した出願書類は、どのような理由があってもお返しできません。
- ⑤ 納入済みの検定料は、出願書類を受理した後はお返しできません。
 なお、検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は、本人の請求により納入された検定料（二重に振り込んだ場合は重複して納入された分）の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページ（入試情報／学部入試／入学検定料返還手続）をご覧ください。
<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>
- ⑥ 出願書類等に虚偽の記載があった場合には、入学許可を取り消します。
- ⑦ 出願書類等の提出後、受信場所を変更した場合には、直ちに繊維学部入試事務室まで届け出てください。

4. 選抜方法等

(1) 選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、調査書（評定平均値など）、推薦書及び次のとおり各学科が指定する試験の結果を総合して行います。

学 科	選 抜 方 法
先進繊維・感性工学科	<ul style="list-style-type: none"> ・面接の参考にするための基礎学力テスト：数学・理科（物理又は化学を選択）の基礎的内容 ・面接（口頭試問を含みます。）
機械・ロボット学科	<ul style="list-style-type: none"> ・面接の参考にするための基礎学力テスト：数学・物理の基礎的内容 ・面接（口頭試問を含みます。）
化学・材料学科	<ul style="list-style-type: none"> ・面接の参考にするための基礎学力テスト：化学・物理・数学・英語の基礎的内容 ・面接（口頭試問を含みます。）
応用生物科学科	<ul style="list-style-type: none"> ・面接の参考にするための基礎学力テスト：化学・生物・英語の基礎的内容 ・面接（口頭試問を含みます。）

面接の参考にするための基礎学力テストの出題範囲は、高等学校学習指導要領に示されている学習内容のうちの下記の範囲とし、設問は高等学校教科書の章末問題と同程度の水準とします。

数学は数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学Bとします。

理科は「基礎を付した科目」と「基礎を付さない科目」とし、各科目の出題範囲は次の通りです。

物理基礎，化学基礎，生物基礎は全内容とします。

物理・・・(1) 様々な運動，(2) 波，(3) 電気と磁気 とします。

化学・・・(1) 物質の状態と平衡，(2) 物質の変化と平衡，(3) 無機物質の性質と利用，
(4) 有機化合物の性質と利用 とします。

生物・・・(1) 生命現象と物質，(2) 生殖と発生，(3) 生物の環境応答 とします。

英語は英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語表現Ⅰ とします。

(2) 採点・評価基準

学 科	採点・評価基準
先進繊維・感性工学科	先進繊維・感性工学科では、繊維製品をはじめとした広範な分野で新しい製品の価値を創造できる技術者の育成と、感性を知り感性を活用することにより人間の視点から新しい製品やサービスをデザインし、幅広い分野で活躍できる人材の育成を目指しており、そのための能力、学力、適性を、面接の参考とするための基礎学力テスト及び面接で総合的に判断します。基礎学力テストでは、先進繊維・感性工学科で学ぶに際して不可欠な数学と理科（物理又は化学を選択）の学力を確認します。面接では、高校での履修状況と理解度を確認するための試問を行うとともに志望動機，熱意，コミュニケーション能力などを評価します。
機械・ロボット学科	機械・ロボット学科では、機械工学とロボット学を横断的に学び、ものづくりの分野で幅広く活躍できる人材の育成を目指しており、そのための能力、学力、適性を面接の参考にするための基礎学力テスト及び面接で総合的に判断します。基礎学力テストは機械・ロボット学科で学ぶに際して不可欠な数学と物理の学力を確認します。面接では、志望動機，熱意，コミュニケーション能力，将来への抱負，課外活動や社会活動などから見た高校生活の充実度などを評価します。なお、面接では高校での履修状況と理解度を確認するための簡単な試問も行います。
化学・材料学科	化学・材料学科では、環境を重視し持続可能な社会実現に向けて幅広く活躍できる化学を基礎とする人材の育成を目指しており、そのための能力、学力、適性を面接の参考にするための基礎学力テスト及び面接で総合的に判断します。基礎学力テストは化学・材料学科で学ぶに際して不可欠な化学，物理，数学，英語の学力を確認します。面接では、高校での履修状況と理解度を確認するための試問を行うとともに、志望動機，熱意，コミュニケーション能力，将来への抱負，課外活動や社会活動などから見た高校生活の充実度などを評価します。
応用生物科学科	応用生物科学科では、「DNAから生態系まで」の幅広い生命現象について教育と研究を行っています。これらを私たちの生活向上に利用するために、応用生物科学の分野で幅広く活躍できる人材の育成を目指します。そのための能力、学力、適性を面接の参考にするための基礎学力テスト及び面接で総合的に判断します。基礎学力テストでは応用生物科学科で学ぶに際して不可欠な化学，生物，英語の学力を確認します。面接では、高校での履修状況と理解度を確認するための試問を行うとともに、志望動機やコミュニケーション能力なども評価します。

(3) 合否判定基準

各学科ごとに、面接の参考とするための基礎学力テスト、面接を複数の面接・採点員によって点数化し、調査書（評定平均値など）、推薦書の内容を考慮して総合評価します。

5. 選抜期日及び試験場

(1) 選抜期日

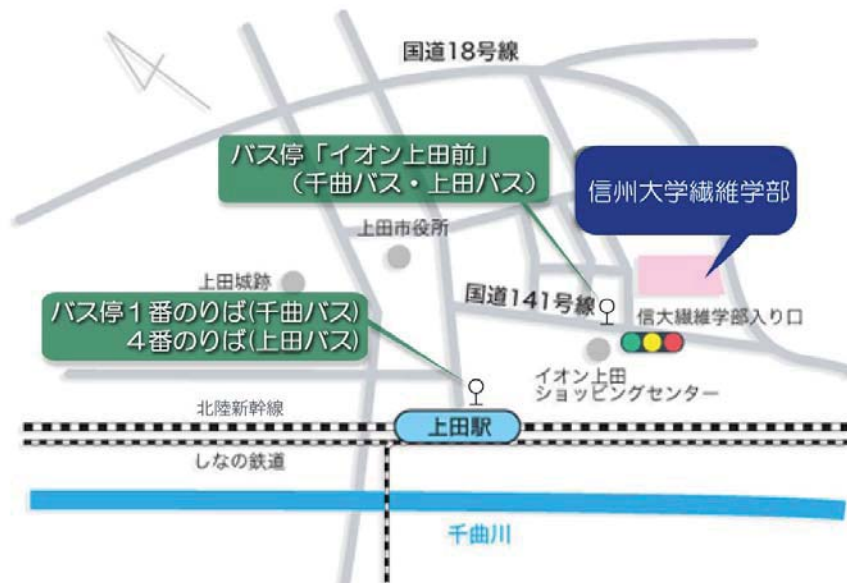
期 日	時 間	選抜方法
平成27年11月19日（木）	9時～	面接の参考にするための基礎学力テスト
	13時～	面接

(2) 試験場

信州大学繊維学部 長野県上田市常田3-15-1

(3) 試験場までの交通案内

徒歩	J R・しなの鉄道上田駅お城口から約20分
タクシー	J R・しなの鉄道上田駅お城口から約5分
バス	J R・しなの鉄道上田駅お城口（1番のりば）から千曲バス「佐久上田線勝間行」「鹿教湯線鹿教湯行」「武石線巢栗行」のいずれかに乗車（5分）、「イオン上田前」下車して、徒歩5分
	J R・しなの鉄道上田駅お城口（4番のりば）から上田バス「市内循環線 青運行（あおバス）」に乗車（5分）、「イオン上田前」下車して、徒歩5分



6. 所属学科とカリキュラム

学 科	所属コースとカリキュラム
先進繊維・感性工学科	学科で入試を実施し、2年進級時に学生の希望と1年次の成績により所属コース（先進繊維工学コース，感性工学コース）を決定し、2年次からコース別カリキュラムで学習します。
機械・ロボット学科	学科で入試を実施し、2年進級時に学生の希望と1年次の成績により所属コース（機能機械学コース，バイオエンジニアリングコース）を決定し、2年次からコース別カリキュラムで学習します。
化学・材料学科	学科で入試を実施し、2年進級時に学生の希望と1年次の成績により所属コース（ファイバー材料工学コース，機能高分子学コース，応用分子化学コース）を決定し、2年次からコース別カリキュラムで学習します。
応用生物科学科	学科で入試を実施します。コースへの配属はなく，卒業まで学科のカリキュラムで学習します。

7. 合格発表

(1) 平成27年11月27日（金）10時

本学部構内公用掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに，同日付けで本人及び推薦学校長あてに合否を文書で通知します。

また，信州大学ホームページ（入試情報）にも合格者の受験番号を速報掲載します。

なお，電話やメール等による合否の問い合わせには応じられません。

信州大学ホームページ <http://www.shinshu-u.ac.jp/>

(2) 合格者には，入学手続に必要な書類を送付しますので，入学又は入学辞退のいずれの手続も行わないまま放置することがないように，必ず入学手続期間内に手続を行ってください。

8. 入学手続

合格者は，入学手続期間内に入学料を納入し，必要な書類等を提出してください。

なお，詳細については，合格通知書に同封しお知らせしますので，必ずご覧ください。

(1) 手続期間

平成27年11月30日（月）～平成27年12月8日（火） 締切日17時までに必着
持参による受付時間は，8時30分から17時までとし，土曜日及び日曜日は受け付けません。

(2) 入学手続書類提出先

信州大学繊維学部 入試事務室

〒386-8567 長野県上田市常田3-15-1

(3) 納付金の納入等

① 納付金（入学料・授業料）の額

ア 入学料 282,000円

イ 授業料（前・後期）各 267,900円 [年額 535,800円]

(注) 金額は平成27年4月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、合格通知書に同封しお知らせします。

- ② 既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。
- ③ 入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度、徴収猶予制度及び月割分納制度(授業料のみ)がありますので、希望される方は、合格通知書送付時に同封される入学料免除・授業料免除等に関する書類をよく読んで願い出てください。

(4) 手続に当たっての注意事項

- ① 入学手続書類を受領したら、なるべく早く入学手続を行ってください。
- ② 所定の入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、本学部へ入学する権利を失います。(次の③による「入学の辞退」とはみなしません。)
- ③ 特別な事情により入学を辞退する方は、「入学辞退願(本学所定の様式)」を、推薦学校長を経て、平成28年2月17日(水)までに「(3)入学手続書類提出先」に提出し、本学学長の許可を受けなければなりません。
なお、許可がない場合は他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりません。
- ④ ②又は③により入学しなかった場合、その事情によっては、翌年度以降当該学校長からの推薦を受理しないことがあります。

9. 一般入試への出願・受験

推薦入試に不合格となった方は、本学及び他の国公立大学・学部の一般入試の前期日程及び後期日程並びに公立大学の中期日程に出願することができます。

なお、不合格となった方が、さらに本学部への入学を希望する場合は、大学入試センター試験を受けた後、一般受験者と同様に「平成28年度信州大学学生募集要項」(平成27年11月中旬公表予定)による、個別学力検査等を受験してください。

10. 障害等のある方の事前相談

本学に入学を志願する方で、障害(別表参照)等のために受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願の前に、下記事項を記載した書面を提出してください。なお、重度の障害のある方は、できる限り早い時期に相談してください。

※ 書式の様式は問いませんが、本学のホームページ(入試情報/学部入試/障害等のある方の事前相談について)から申込様式をダウンロードいただけます。

(<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>)

(注) 日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

事前相談は障害のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので、障害のある方の受験や修学を制限するものではありません。

(1) 提出の時期

平成27年10月20日(火)まで

(2) 書面に記載する内容

- ① 志願者の氏名，住所，電話番号
- ② 出身学校名
- ③ 志願学部，学科等（学科名の後に「推薦」と記載してください。）
- ④ 障害等の種類・程度（現に治療中の方は，医師の診断書を添付してください。）
- ⑤ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑥ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑦ 出身学校でとられていた修学上の配慮
- ⑧ 日常生活の状況

(3) 提出先及びお問い合わせ先

信州大学学務部入試課

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 （直通電話）0263-37-2192

(4) 提出期限後の不慮の事故等による場合の配慮

提出期限後に不慮の事故等により配慮が必要となった場合は，その際にご相談ください。

[別表]

区 分	障 害 の 程 度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のものうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもので，補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行，筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち，常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	1. 慢性の呼吸器疾患，腎臓疾患及び神経疾患，悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
その他	上記以外で，受験上及び修学上の配慮を必要とする程度のもの

(参考：学校教育法施行令第22条の3，発達障害者支援法第2条)

11. 個人情報の利用

信州大学における入学者選抜を通して取得した個人情報については，入学者選抜のほか次の目的のために利用します。

- ① 入学手続
- ② 学籍管理
- ③ 学習指導
- ④ 学生支援関係業務
- ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお，調査・研究及び結果の発表に際しては，個人が特定できないように処理します。

また，国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため，推薦入試の合格及び入学手続等に関する情報を，大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

12. 入試情報の開示

本選抜に係る試験結果等を次のとおり開示します。

(1) 志願者数

開示方法： 信州大学繊維学部ホームページ

開示時期： 出願期間終了後，人数が確定次第

(2) 受験者数，合格者数，入学者数

開示方法： 信州大学ホームページ

開示時期： 平成28年4月以降

(3) 合格最高点，合格最低点及び合格者平均点

開示方法： 信州大学繊維学部ホームページ

開示時期： 平成28年4月以降

※ 合格者が10名未満の学科については，非開示とすることがあります。

(4) 個人情報等

① 試験成績

② 調査書 ※ 客観的事実に係る記録部分のみを開示します。ただし，「特別活動の記録」，「指導上参考となる諸事項」，「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」に係る記録部分を除きます。

開示方法： ①の試験成績は，開示請求による郵送を原則とします。

②の調査書は，窓口での閲覧のみとします。

請求者： 原則として受験者本人とします。

請求方法： 「入試情報開示請求願」に必要事項を記入し，下記の開示請求先に郵送（又は持参）してください。「入試情報開示請求願」は，本学のホームページ（入試情報／学部入試／入試成績等の開示）からダウンロードしてください。

(<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>)

※ 受験者本人であることを確認するとともに，受験番号を照合するため，本学の受験票を必ず添付してください。（コピー不可）

※ 試験成績の郵送を希望する場合は，返信用封筒〔長形3号（12cm×23.5cm）に郵便番号，住所，氏名を明記し，簡易書留料金を含む402円分の切手を貼ったもの〕を同封してください。

受付期間： 平成28年5月1日（日）～5月31日（火）

※ 郵送の場合は，5月31日までの消印有効

※ 持参の場合は，8時30分から17時までとし，土曜日，日曜日及び祝日は受け付けません。

開示時期： 平成28年7月中旬以降

開示請求先： 信州大学学務部入試課

〒390-8621 松本市旭3-1-1

電話 0263-37-3450

13. その他

- (1) 入学手続完了者であっても、平成28年3月に高等学校を卒業できない方は、入学を許可しません。
- (2) 受験票は、入学手続や入試情報開示請求の際も必要となりますので、それまで大切に保管してください。
- (3) この学生募集要項について不明な点がある場合は、繊維学部入試事務室までお問い合わせください。
- (4) その他、この要項に追加すべき事項がある場合は、別途通知します。

平成27年度信州大学繊維学部推薦入試実施状況

▼志願者数等

■全学科対象

系・課程		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
繊維・感性工学系	先進繊維工学課程	9	16	16	9
	感性工学課程	9	31	31	12
機械・ロボット学系		5	27	27	5
化学・材料系		17	47	47	19
応用生物科学系		10	52	51	12

■職業教育を主とする学科対象

系・課程		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
繊維・感性工学系	先進繊維工学課程	1	0	0	0
	感性工学課程	1	2	2	0
化学・材料系		1	1	1	0

▼合格最高点・最低点

■全学科対象

系・課程		合格最高点	合格最低点
繊維・感性工学系	先進繊維工学課程	◆	◆
	感性工学課程	88	70
機械・ロボット学系		◆	◆
化学・材料系		88	64
応用生物科学系		85	78

※ ◆印は、合格者数が10名未満のため非公開。

※ 高等学校の職業教育を主とする学科を対象とする選抜は、合格者が10名未満のため非公開。

信州大学繊維学部

平成27年8月発行

発行・編集／信州大学繊維学部 入試事務室

〒386-8567 長野県上田市常田3-15-1 TEL 0268-21-5310